

Googleペナルティ 回避マニュアル



～記事作成編～

【推奨環境】

このレポート上に書かれているURLはクリックできます。

できない場合は最新のAdobeReaderをダウンロードしてください。
(無料) <http://www.adobe.co.jp/products/acrobat/readstep2.html>

◆著作権について

当レポートは、著作権法で保護されている著作物です。
使用に関しましては、以下の点にご注意ください。

◇レポートの著作権は、作者にあります。作者の書面による事前許可なく、本レポートの一部、または全部をインターネット上に公開すること、およびオークションサイトなどで転売することを禁じます。

◇本レポートの一部、または全部をあらゆるデータ蓄積手段(印刷物、電子ファイル、ビデオ、DVD、およびその他電子メディアなど)により複製、流用および転載することを禁じます。

◆使用許諾契約書

本契約は、レポートダウンロードした法人・個人(以下、甲とする)と作者(以下、乙とする)との間で合意した契約です。本レポートを甲が受けとることで、甲はこの契約は成立します。

第1条(目的) 本契約は、本レポートに含まれる情報を、本契約に基づき、甲が非独占的に使用する権利を承諾するものです。

第2条(第三者への公開の禁止) 本レポートに含まれる情報は、著作権法によって保護されています。また、本レポートの内容は、秘匿性の高い内容であり、甲はその情報を乙との書面による事前許可を得ずにいかなる第三者にも公開することを禁じます。

第3条(損害賠償) 甲が本契約の第2条の規定に違反した場合、本契約の解除に関わらず、甲は乙に対し、違約金として、違反件数と金壱萬円を乗じた価格の10倍の金額を支払うものとしします。

第4条(その他) 当レポートに沿って実行、期待通りの効果を得ることができず、万一如何なる損益が生じた場合でも、乙は甲に対して責任を負わないものとする。

目次

- ・ オリジナリティのある記事を作成する方法！
- ・ 文章の見せ方にも気を使う！

オリジナリティのある記事を作成する方法！

ここでは、ペナルティを受けないために欠かせない「オリジナリティのある記事を作成する方法」についてお伝えします！

①自分の意見がある文章を理解する！

■「自分の意見を書いて下さい」と言うと、多くの人が口調や文末だけを変えるだけだったりします！

■例えば、

僕が、「橋本マナミ、13歳にしてこの色気！ 美少女コンテスト時代の写真が反響、というYahoo!ニュースをネタにして、自分目線も含めて記事を書きましょう」と言ったとします。

こちらがネタ元になります！



橋本マナミさん (2016年撮影)

グラビアアイドルや女優として活躍する橋本マナミさん (32) が自身のInstagramで公開した過去の写真が反響を呼んでいる。

【写真】反響を呼んでいる橋本さん13歳当時の写真

橋本さんは2017年4月19日深夜、「13歳の時のアタシ」として20年近く前の写真を披露した。

■「まさに原石」「驚くほど美しい」

続けてInstagramでは「明日の日本テレビPONで美少女コンテスト13歳当時の様子が流れるかもです。とっても貴重映像です。みれたらみてねっ」とファンに告知した。

橋本さんといえば1997年、「第7回全日本国民的美少女コンテスト」に出場し、演技部門賞を受賞。これを機に芸能界デビューを果たしている。写真はコンテスト当時のものというわけだ。

写真の中の橋本さんは花柄のノースリーブに身を包み、ロングヘアをアップスタイルでまとめ、13歳とは思えないほどの色気を漂わせている。大人になってから「愛人にしたい女NO.1」「平成の団地妻」との異名をとることになるが、その片鱗は当時から垣間目せていたようだ。

■この場合、ほとんどの人が
このような文章を書いてしまいます。

====ここから====
橋下マナミさんが、インスタグラムで13歳の時の写真
を公開しました。そして明日の朝の番組PONでは
美少女コンテストに出場した時の貴重な映像が観れる
かもしれないそうです。13歳とは思えない色気を漂
わせている橋本マナミさんの当時の振る舞いに、注目
している人も多いのではないのでしょうか。
====ここまで====

■上の文章は、
「自分の意見が書かれている（自分目線）」
とは言えませんよね。

よく見てみると、

自分の意見ではなくリライトに近い文章です。

ただネタ元の文章を言い換えて

要約しているだけと言えます。

■これでは、確実にGoogleから

「価値のない質の低いコンテンツ」とみなされ

ペナルティを受けてしまいます。

■では、

「自分の意見がある文章（自分目線）」

で記事を書いてみたいと思います。

====ここから====
橋下マナミさんが、インスタグラムで13歳の時の写真
を公開しました。

13歳にして、今の僕よりも大人としての色気を醸し
出していて、昔から顔が変わっていない橋本マナミさ
ん恐るべし。

中学時代の同じクラスに、こんな子がいたらドキドキ
してしまって授業どころではないでしょうね（笑）。
まあ、ちんちくりんだった13歳の僕とは釣り合わな
過ぎて、”高嶺の花”で終わってしまったでしょう
が、、、

当時から女性として出来上がっていたのに、今まで芸
能界で売れなかったと言うことは、時代がやっとな橋本
マナミに追いついたと言うことだな！

====ここまで====

■このような文章だったら、どうでしょうか！？

最初の文章とは違って、今回の文章は、
しっかり自分目線で書かれているのが分かりますよね。

つまり自分目線の文章とは、あくまで上記のような
「自分の経験・思考」をベースとした文章です。

そして、ネタ元の記事には書かれていない「付加情報」を加えると言うことを忘れないで下さい。

■そして、一番やってはいけないことは、

「調べたけど、分かりませんでした」

といった内容です。

自分が書きたい情報がネットに載っていないなんてことは、これからザラにあります。

なので多くの方が、

・ 「調べたけど情報はありませんでした。」

・ 「分かり次第追記でお知らせします」

とだけ書いてしまうわけです。

■ここで大事なのは、
追記の予告だけで終わってしまわないことです。

追記がなければ、良い記事の書き方とは言えませんし
「価値のない質の低いコンテンツ」に繋がり、
ペナルティのリスクは高まります。

なので僕が答えがなかった時、
実際にやっている方法は以下の2つです。

■ 1つ目は、

「過去の情報から自分の予想や意見を書く」

これをする事で、

オリジナリティの強い文章に仕上がります。

■ 2つ目は、

「Twitterから世間の意見を利用する」

Twitterの検索窓で知りたい情報を調べてみると、世間の人々のツイートが出てくるので、それを埋め込み話を広げていけばいいのです。

② 「自分の意見＞事実」を意識して書く！

■ペナルティを受けているブログに共通するのが、自分の意見より事実の文章の量が多いブログです。

全体的に見てみると、自分の意見3割、事実7割ぐらいのブログが多く、

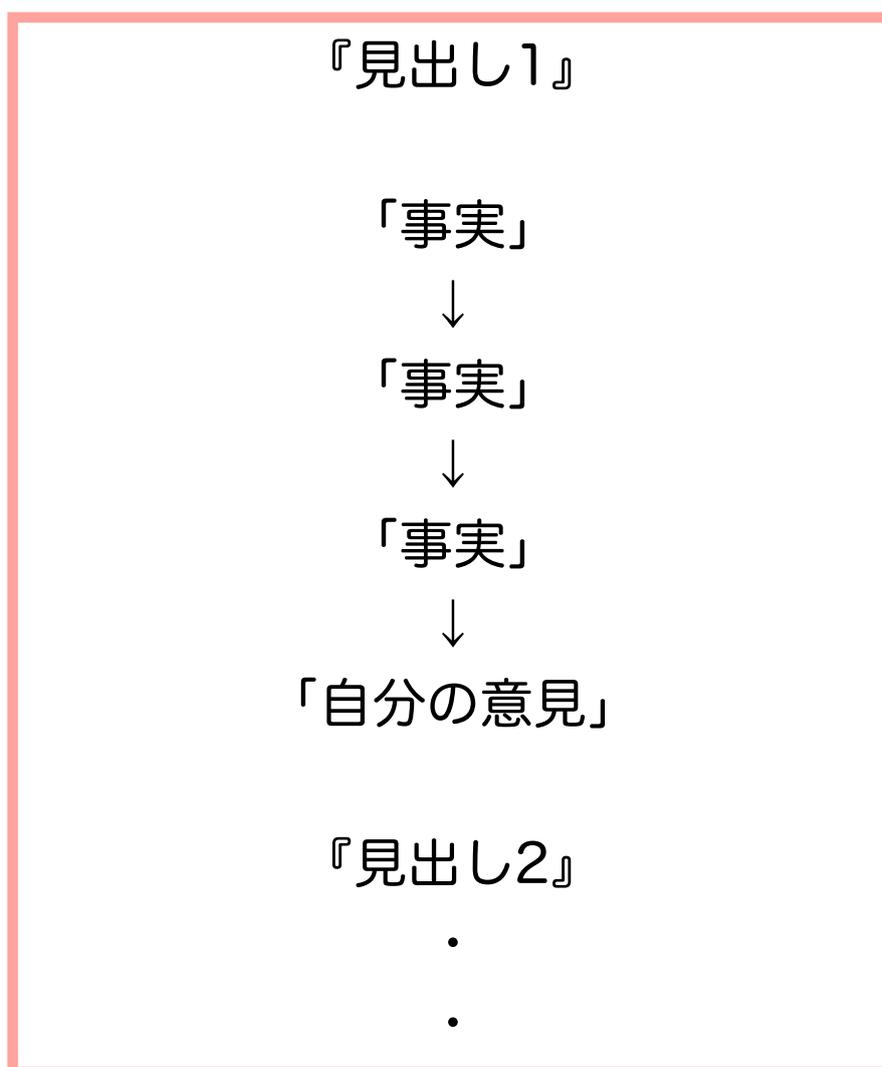
- ・ 「記事を書くのが苦手だから、、、」
- ・ 「何を書いていいか分からないから、、、」

といった理由で、
ついつい事実ばかりを記事に入れてしまい、
内容の薄いコンテンツになっている人がほとんどです。

■ペナルティを受ける人は、全体の文章を「事実」と「自分の意見」の2種類に分類した時、以下の構図になっているパターンがほとんどです。

(*事実とは主にネタ元の記事の文章)

ペナルティを受ける記事構成パターン



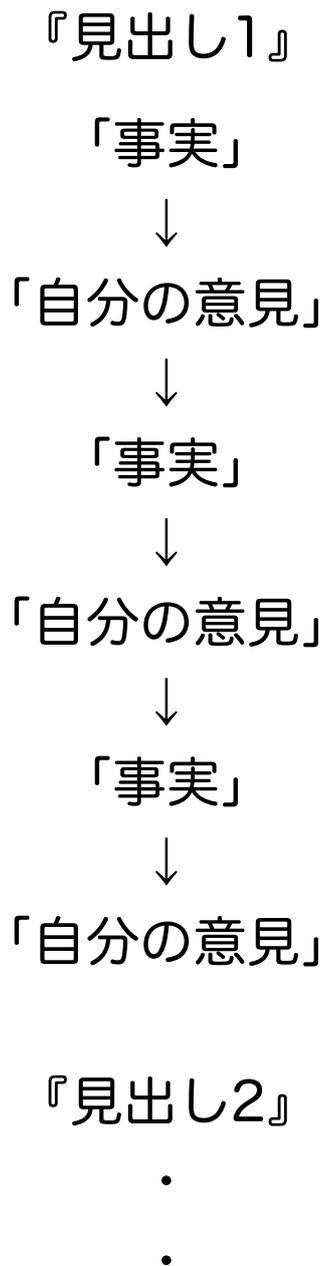
■このように、ペナルティを受けるトレンドブログは
1つの見出しの中の最後の方にだけ、
「自分の意見」を書いている人が多いのです。

こういった記事はGoogleの人がサラッと見た時、
「このブログ、自分の意見が少ない」と
判断されてしまうということです。

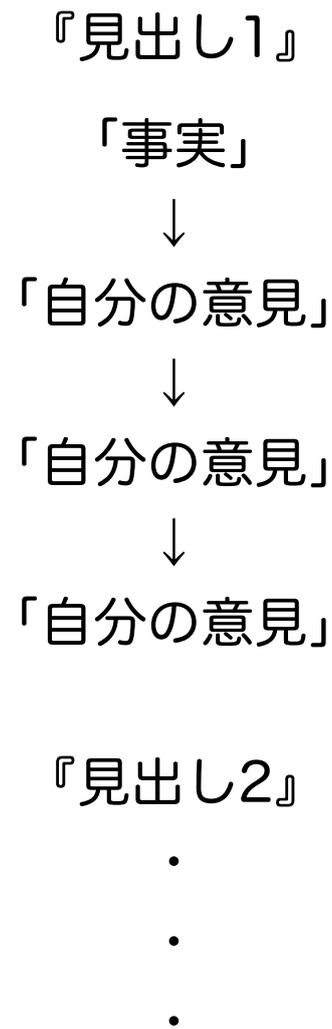
■では、ペナルティを受けないブログの構成とは、
一体どういったものでしょうか！？

ペナルティを受けない記事構成パターン

【パターン1】



【パターン2】



■これがペナルティを受けない文章の構成で、
圧倒的に自分の意見が多く最低でも
「自分の意見6割：事実4割」です。

では、先ほどの
「橋本マナミ」を例題に出して
説明していきます。

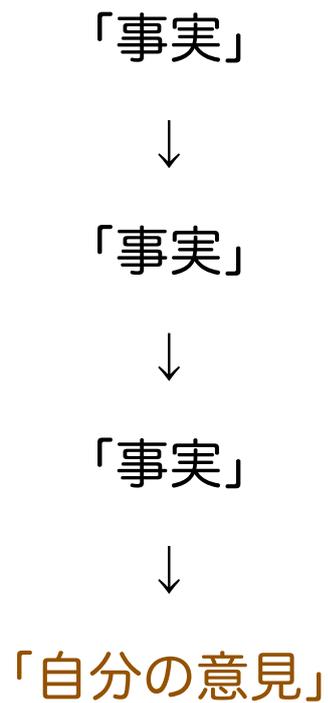
×ペナルティを受ける記事構成

====ここから====
橋下マナミさんが、インスタグラムで13歳の時の写真
を公開しました。そして、明日の朝の番組PONで
は美少女コンテストに出場した時の貴重な映像が観れ
るかもしれないそうです。13歳とは思えない色気を
漂わせている橋本マナミさんの当時の振る舞いに、注
目している人も多いのではないのでしょうか。

僕もファンなので今から非常に楽しみです。

====ここまで====

■上の記事を見てわかるように、
1つの文章の見出しの中の構成は、



となっています。

自分の意見は、「見出し1」の最後の

「僕もファンなので今から非常に楽しみです。」

だけですよね。

■では、次に

「ペナルティを受けない記事構成」

を見ていきましょう。

○ペナルティを受けない記事構成

====ここから====
橋下マナミさんが、インスタグラムで13歳の時の写真
を公開しました。

13歳にして、今の僕よりも大人としての色気を醸し
出していて、昔から顔が変わっていない橋本マナミさ
ん恐るべし。

中学時代の同じクラスに、こんな子がいたらドキドキ
してしまって授業どころではないでしょうね（笑）。
まあ、ちんちくりんだった13歳の僕とは釣り合わな
過ぎて、”高嶺の花”で終わってしまったでしょう
が、、、

当時から女性として出来上がっていたのに、今まで芸
能界で売れなかったと言うことは、時代がやっとな橋本
マナミに追いついたと言うことだな！

====ここまで====

■この文章だと、圧倒的に自分の意見が多く

「パナルティを受けない記事構成」の
パターン2に当てはまっていますよね。

最初の1行だけが事実で、あとは自分の意見で

「自分の意見8割：事実2割」ぐらいなので

「自分の意見>事実」になっているのが分かります。

■また大事なので付け加えますと、最後の「まとめ」

の部分だけ自分の意見をしっかりと書いて、

「見出し1、2、3」には事実しか書いていない人も
多いので気をつけて下さいね。

■そして、

見出し毎の情報量にも気を配って下さい。

「見出し1」は内容の濃い記事が書けているのに、他の「見出し2、3」は情報量が薄かったり、文字数が少ない場合もペナルティを受けやすくなるので見出し毎にバランスよく「自分の意見と事実」を織り交ぜていきましょう。

③ 3人で会話を進めていく形で書く

- 「自分の意見を書くのは分かるけど、
どのように書いていけば良いか分かりません」

という相談をよく受けることがあります。

最初は難しいかもしれませんが、
とある方法をする则スムーズに独自性のある記事を書けるようになります。

■それは、

「常に3人で会話をするようなイメージで書く」

とということです。

3人とは、

・「自分」

・「キャスター」

・「世間の人」

■それでは、早速、

「例題」を元に記事を書いていきましょう。

例題

「2016年内で解散を発表したSMAPですが、解散の原因は木村拓哉の裏切りだと噂されている」と言うニュースをネタに記事を書くとします。

■この例題の場合の、
記事の書き方を説明していきます。

参考回答

SMAPが2016年いっぱい解散を発表したことが、話題になっていますね。解散の原因は木村拓哉さんにあると言われてはいますが、どう思いますか？

世間の人々の意見を見ると、「キムタクが裏切るとは思わなかった」とか「他の4人が可哀想、、」なんて声が多く聞こえてきます。

しかし、僕はそうは思わないんですよ。

だって、今まで25年間一緒に頑張ってきた仲間を、裏切るとは思えないんです。また、グループの先頭を切って活動してきたキムタクなので、SMAP愛はメンバーの中でも強かったはず。SMAPはジャニーズ事務所あつてのグループなので、キムタクがジャニーズに恩を感じ残りたい選択をした気持ちも理解できます。なので根本的に分裂のきっかけを作ったマネージャーのI氏に問題があると思うのですが、、

■ここで大事ななのは、「参考回答」のように
「自分」と「世間の人」との
二項対立を意識することです。

これって普段、友達や恋人との会話で
やっていますよね！？

しかし、トレンドブログの記事を書くときに手が止まっ
てしまう人は、この意識が低いように感じます。

■「例題」のように、
3人が会話形式ならば記事を書くのも早くなりますし、
記事の内容も充実してきます。

④記事の書き出しでのアピールを忘れない！

■僕が記事を書くときに、

気をつけていることの1つは、

「記事の書き出し」を意識することです。

やはり、記事の書き出しは、

手動ペナルティを実施する、

Google社員が一番目に付きやすく

目を通す部分であります。

なので、ここで必ず

- ・「私は、趣味で世の中の気になることを書いています」

- ・「他にもある事実だけを書いているトレンドブログではありません」

と言うことを**アピール**することが大切です。

■例えば、

- ・「今日は三度の飯より〇〇が大好きな僕が、独自の意見で語っていきます」

- ・「自分の意見を中心に熱く語っていくね」

- ・ ・ ・ etc

などを書き出しに入れると良いでしょう。

■しかし、これはあくまで見本なので、
自分のキャラに合わせたオリジナルな書き出しを
考えてみてください。

他のブログと差別化できて、
自分の中で1番良いと思うものを見つけて下さいね。

文章の見せ方にも気を使う！

ここでは、ペナルティを受けないための
「文章の見せ方」についてお伝えしていきます。

①改行で読みやすくする！

僕は記事の読みにくいブログを見ると、
「読者のことを考えていないな、、、」
て思ってしまいます。

例えば、以下のような2つの文章であれば、
どちらが読み進めていきやすいでしょうか！？

文章①

こんにちは、シンです。最近、お腹の上の脂肪が増え、階段を少し登っただけで、すぐに息切れしてしまいます。やはり運動不足を実感するので、昨日からジムに通うことにしました。中学時代は、どれだけ動いても筋肉痛にはなりませんでしたが、5分間走っただけで足がパンパンに、、、3日坊主だけは避けたいと思います。

文章②

こんにちは、シンです。

最近、お腹の上の脂肪が増え、
階段を少し登っただけで、
すぐに息切れしてしまいます。

やはり運動不足を実感するので、
昨日からジムに通うことにしました。

中学時代は、どれだけ動いても
筋肉痛にはなりませんでしたが、
5分間走っただけで足がパンパンに、、、

3日坊主だけは避けたいと思います。

■文章の内容は同じですが、
明らかに文章②の方がスッキリしていて
読みやすいですね。

文章①の書き方はニュースサイトなどに多く見られますが、改行がない記事で1000文字以上の文章だと呼んでいてもものすごく疲れてきます。

■つまり「改行」とは、
「読者に対しての思いやり」で、
これが出来ていない記事は、
読者目線を意識していないからです。

自分が読者だったら、

「どのような改行がテンポよく読みやすいか？」

を考えて記事を書いて行きましょう。

■また、ここをきちんとするだけで、

読者の滞在時間は上がり、直帰率は下がります。

最終的にはGoogleから評価の高いブログが構築できて、ペナルティも受けにくくなるのです。

②文字の色の分け方について

■さらに文章を読みやすくするためには、
文字自体の色分けにも気を配る必要があります。

しかし、ここをいい加減にしてしまうと、
かえって見栄えが悪くなるので注意して下さい。

■僕が多くのブログを見てきていつも思うのが、
「自分目線」「他者目線」のある文章の書き方ができ
てオリジナリティのあるブログに仕上がっているのに、
文字色を取り入れていなかったり、文字色の使い分け
で損をしている記事が多いということです。

■例えば、以下の文章をご覧ください。

===ここから=====

こんにちは、シンです。

ついにiPhone 7が発売されました。

今回は新色のレッドが追加されています。

僕が驚いたのは、画面がすごく綺麗だと言うところ。

画質がパワーアップして、とても感動しました。

皆さんは、もうiPhone 7は手に入れましたか？

昨日、僕も近所の携帯ショップに足を運んだのですが、かなりの混雑で2時間も待たされ、やっとの思いでゲットすることができました。

いざ手にしてみると機能性の素晴らしさに、数時間前、苦労はしたことはどうでもよくなりましたよ！笑

今日、友人と会って自慢したら、

「確かに機能性は抜群だけど、僕はどうもデザインが気に入らない。

ジョブズがいたらこんなデザインにしていらないはずだ！」

とボヤいていました。

===ここまで=====

■ どうでしょうか！？

かなり見辛くないでしょうか？

どこの文章が大事なのか分からないですし、
まとまりがないですね。

でも実際に、このようになんとかで
文字装飾をしているブログは多いです。

なので僕は自分の中で文字装飾のルールを決めて、
すべての記事で統一するようにしています。

■これは決して真似する必要はありませんが、
僕は基本的に、文字の色分けは
「3色」に限定しています。

是非、参考にして

自分なりのルールを決めておきましょう。

大事なキーワード：赤文字

世間の意見：青文字

自分の主張：黄色

僕の経験上、3色ぐらいが見やすく、それ以上使うと
逆に見にくい文章になってしまうと考えています。

■では、このルールを適用して、
先ほどの文章を見て行きましょう。

===ここから=====

こんにちは、シンです。

ついにiPhone 7が発売されました。
今回は新色のレッドが追加されています。

僕が驚いたのは、画面がすごく綺麗だと言うところ。
画質がパワーアップして、とても感動しました。

皆さんは、もうiPhone 7は手に入れましたか？
昨日、僕も近所の携帯ショップに足を運んだのですが、

かなりの混雑で2時間も待たされ、
やっとの思いでゲットすることができました。

いざ手にしてみると機能性の素晴らしさに、
数時間前、苦労はしたことはどうでもよくなりました
よ！笑

今日、友人と会って自慢したら、

「確かに機能性は抜群だけど、

僕はどうもデザインが気に入らない。

ジョブズがいたらこんなデザインにしていらないはず
だ！」

とボヤいていました。

===ここまで=====

■先ほどの文章と比較すると、
かなりスッキリしましたよね。

これから記事を書く際は、
適当に文字装飾をするのではなく
自分が決めたルールのもとに行ってください。